

調査番号	2	分野名	保護	予算区分	国庫・ <u>県単</u>
調査名	松くい虫発生消長調査				
担当者名	丸山 友行			調査期間	昭和 53 年度～

目 的

環境条件との相関から成虫の発生時期を推定するため、松くい虫発生消長調査を実施することとし、発生するマツノマダラカミキリ成虫数を調査した。

方 法

マツノマダラカミキリ幼虫が付着している被害木をおおむね 1 m に玉切ったもの(1 年目材)及び前年調査した材(2 年目材)を場内の屋外に設置した網室の中に入れ、2014 年 5 月から 8 月まで発生する成虫数を調査した。

結果概要

2014 年 5 月から 8 月までのマツノマダラカミキリ成虫の発生数(1 年目材と 2 年目材)は表-1～3 のとおりであった。1 年目材の発生(6/2～8/6)数は 29(♂:8・♀:21)、2 年目材の発生(6/16～7/15)数は 21(♂:7・♀:21、同材の 1 年目発生数 71)であった。

また、有効積算温量算出のための場内観測気象データ(3 月～8 月)についても報告した。

表-1 マツノマダラカミキリ羽化脱出数(1 年目材)

脱出月	脱 出 日						計
	1～5	6～10	11～15	16～20	21～25	26～31	
5	0	0	0	0	0	0	0
6	1	1	0	2	2	0	6
7	4	8	3	2	3	2	22
8	0	1	0	0	0	0	1
計							29

表-2 マツノマダラカミキリ羽化脱出数(2 年目材)

脱出月	脱 出 日						計
	1～5	6～10	11～15	16～20	21～25	26～31	
5	0	0	0	0	0	0	0
6	0	0	0	5	3	4	12
7	4	4	1	0	0	0	9
8	0	0	0	0	0	0	0
計							21

表-3 マツノマダラカミキリ羽化脱出数(合計)

脱出月	脱 出 日						計
	1～5	6～10	11～15	16～20	21～25	26～31	
5	0	0	0	0	0	0	0
6	1	1	0	7	5	4	18
7	8	12	4	2	3	2	31
8	0	1	0	0	0	0	1
計							50